

3/2 ウィンターバルーン協力企業2社へ感謝状贈呈

2月に行われた第35回上士幌ウィンターバルーンミーティングの会場設営の際、ボランティアで会場および駐車場の除雪作業を行った笹谷建設株式会社（帯広市・写真左）と堀松建設工業株式会社（留萌市・同右）に竹中町長より感謝状が贈られました。

**3/2 中学生2名が道ジュニアスキー技術選大会へ抱負語る**

スキーの滑走技術を競う第6回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会に出場する上士幌中学校1年の前田滉太さんと牧野あみさんが教育委員会を訪れました。

二人は「スキー場まで送り迎えをしてくれた両親のほか平日や夜遅くまで練習に付き合ってくれた先生たちに感謝して頑張りたい」と意気込みを語りました。

【結果】前田さん…55人中43位、牧野さん…44人中36位

**3/3 トップアスリートから技術学ぶ～上士幌町一流プロジェクト～**

3月3日、上士幌小学校にて、バスケットボール元オリンピック日本代表の大山妙子さんと永田睦子さんによるバスケットボール教室が開かれました（写真左）。教室には、バスケットボール少年団に所属する小学生が集まり、講師の二人からパスやドリブルなどの技術を学びました。翌4日には中学校でも教室が開かれ、バスケットボール部に所属する中学生が、シュートやチームプレイなど、より実戦的な技術を学びました。

また、3月12日にはスポーツセンターにてスプリント教室が開かれ（同右）、全日本実業団陸上選手権男子100mで優勝経験がある仁井有介さんが、子どもたちへ早く走るコツやトレーニング方法を指導しました。

**3/10 幼年消防クラブ修了式**

認定こども園にて、平成28年度かみしほろ幼年消防クラブ修了式が行われました。

今年度はひまわり組の年長児31人が修了を迎え、馬場消防署長より、園児一人ひとりへ修了証が手渡されました。また、年長児から来年度クラブ員となる予定の年中児へ避難用のソリの贈呈とクラブ旗の引継ぎが行われました。

**2/24 道森連・農林中金がこども園に木のおもちゃ寄贈**

北海道森林組合連合会と農林中央金庫札幌支店が、認定こども園に道産材で作られた木のおもちゃを寄贈しました。

この木のおもちゃの寄贈は、子どもたちが「木にふれあう」機会を提供し、木に対する豊かな感性と心を養う「木育」の支援のため行われました。おもちゃを受け取った園児たちは、木の人形や積み木など、それぞれ気に入ったものを選んで友だち同士仲良く遊びました。

**2/24 社会福祉関係功労者表彰伝達式**

社会福祉施設に通算15年以上勤務し、地域の福祉に大きく貢献したとして、上士幌福寿協会の杉井明子さんと星野美稚子さんに社会福祉関係功労者等振興局長表彰が贈られました。

竹中町長から表彰状を手渡された二人は「振り返るとあつという間でした。この仕事が好きだから長く続けてこられたと思います。お年寄りの皆さんと会話するのが好きなので、これからも元気に仕事を続けていきたいです」と話しました。

**2/28 夢の実現のためにすべきこととは？～上士幌小学校で特別授業～**

上士幌小学校で将来の夢の実現について考える授業が行われました。町内で働く8人が講師となり、6年生へ仕事のやりがいや夢を抱いたきっかけ、夢の実現のために続けてきたことなどを語りました。

児童らは講師の話に熱心に耳を傾け、メモをとったり講師へ質問するなどして、夢の実現のために努力することの大切さを学びました。

授業の感想発表では、児童から「皆さん仕事に関してとても勉強していると感じました。自分ももっと勉強したいと思いました」といった声が聞かれました。

**2・3月の
まちのわだい**

今年開校70周年を迎える上士幌中学校の校舎に、記念の懸垂幕が掲げられました。幕には、同校3年の大江真凜さんが考えたスローガン「未来へつなげ 私たちの夢の結晶」の文字が書かれています。

今後、周年行事として、看板の作製や記念誌の発行のほか、11月25日には式典と祝賀会を開催する予定です。



左から関根秀実校長、開校70周年記念事業協賛会の佐藤昇会長および橋本正則事務局長（3月14日）

平成29年2月末現在の人口

男性 2,402人(+5人)
女性 2,530人(+8人)

人口 4,932人(+13人)
世帯数 2,452世帯(+11世帯)

寄付 (2/17~3/16)

3月1日、サポートセンター白樺で「刺し子」の指導をされている福田栄子さんが、パソコン用の刺しゅうカバーを寄贈されました。(町民窓口にあるマイナンバー操作用のパソコンモニターに使用しています)



3月13日、国際ソロブチミストおとふけ様(大森喜久江会長)が、福祉の振興のため3万円を寄付されました。



平成28年度 ふるさと納税寄付金

2月分	1,606 件	累計	91,137 件
	26,952,101 円		2,052,682,881 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき、心より感謝を申し上げます。

広報 かみしほろ 5月号は4月25日(火)発行予定

情報交流担当

(☎ 014-4290またはFAX 014-4637)まで、お気軽にご連絡ください。

川柳

プレ金にあやかり 姫女子会に
カタコトと筆入れ歌う ランドセル
いじめなくみんなで守ろう子の命

桜坂尾野よし乃
花絵

短歌

生来の内氣がふつと顔を出し集ひの席より抜けたき衝動
日課とし夫は欠かさず散歩するけふは新雪に足型残し
吾が兄の孫内山佳奈の「農業女子活動」の表彰に選ばれし新聞に知りたり
六人目の曾孫の百日祝の寫眞届く笑顔の姿幸せいのり
妻さきかはたまたわれかふといのち果つる日おもへり椅子に倚りゐて
はたと息たえたる猫よたわむれの最中のことに狼狽ふる吾れは

本間栄風 高木慶子 石川裕子

地域を変えていく新しい力
地域おこし協力隊活動報告

TITLE: ふるさと納税とデザインの関係

記: 地域ブランドデザイン推進員

たかの
高野

さつき
沙月

はじめまして、高野と申します。

『地域ブランドデザイン推進員』として、上士幌町のふるさと納税の返礼品のパッケージやチラシなどのデザインを手がけています。

デザインする際は、返礼品は上士幌町から寄付者への「お礼」なので「上士幌町を応援してくれてありがとう」という気持ちが伝わるように意識しています。

商業デザインでは、売り場でどれだけ目立つかということが肝要です。しかし、返礼品のパッケージの場合では必ずしもそうではありません。重要なのは「上士幌町らしさ」であり、「たくさん売れる」ということが必須ではないと私は考えています。

「上士幌町らしさ」を表現するためには、まずはこの町のことをよく知ることが必要です。もっとこの町のことを知るために、いろんな場所へ足を運び見聞を広めたいと思っています。

昨年は空前のふるさと納税ブームでした。メディアに取り上げられたことにより、今年もこのブームは続くと思われます。こうした状況の中、今まで埋もれていた地方の優れた商品にスポットライトが当たるチャンスも増えていくと思います。そのときに上士幌町の特産品の魅力を全国に伝えるお手伝いができたら光栄です。



▲返礼品の豚丼セットのロゴ



▲デザインしたインターネットのバナー

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



3月1日(水)に上士幌高校の卒業式が行われ、58人が卒業を迎えました。

今回の式で盛り上がったのは、3年生で前生徒会長の酒井直輝(3 A)さんの答辞でした。両親や学校の先生、ともに学校生活を送ったクラスメイトへ感謝を述べ、感極まって涙をこぼす姿が印象的でした。酒井さんにつられて涙ぐむ姿があちこちで見られました。

卒業式を終えて3年生からメッセージ

をいただきました。松尾圭悟(3 A)さんは「見学旅行は3年間の中でとても楽しかったです。担任の山崎先生に頼りすぎてしまい、いろいろと迷惑をかけたと思いますがこれからは自立して頑張るので安心してください」。野々村双葉(3 B)さんは「見学旅行がとても楽しかったです。見学旅行に限らず担任の先生である古起先生は、いつも面白いことを言って笑わせてくれたので毎日がとても充実していました。1・2年生はこれから進路活動が忙しくなるので、自分の進路をしっかりと決めて後悔のないようにしてください」と後輩にエールを送りました。

3年A組担任の山崎広平先生は「卒業した3年生たちとは、他愛もない日々がとても楽しかったです。男子・女子それぞれがとても明るかった。そのおかげで、私は教室にいる時間がとても落ち着いた」と語ってくれました。3年B組担任の古起快先生は「3年生が無事に卒業することができてよかったです。活躍しろとは言いませんが人のために全力になれるよう頑張ってください」と卒業生にエールを送ってくれました。

58名が卒業。上士幌高校で卒業式が行われました

文責 早坂 格咲